

# 大阪市立大学 同窓会 報

創刊号

発行：大阪市立大学同窓会

http://www.osaka-cu.net/

〒558-8585 大阪市住吉区杉本3丁目3-138  
大阪市立大学 田中記念館 有恒会事務局 TEL:06-6605-2087



同窓会総会で全学同窓会設立を発表する児玉会長

## 全学同窓会「大阪市立大学同窓会」設立 市大卒業生の絆 より強く広く

大阪市立大学同窓会 初代会長  
児玉 隆夫



昨年11月3日の第11回ホーム

カミングデーに合わせて開かれた同窓会総会において「大阪市立大学同窓会」の設立が承認され、ここに長年の懸案でありました全学同窓会が発足いたしました。同時にこの総会では同窓会会則や運営組織についても承認を受け、私が初代会長に就任させていただきましたことになりました。

### 七つの同窓会を統合

これまで市大の同窓会には、文科系4学部(商学部、経済学部、法学部、文学部)の同窓会である有恒会と理学部、工学部、医学部、生活科学部の各学部同窓会、それに看護系同窓会および創造都市研究科同窓会の七つ

の同窓会があり、それぞれの学部等を中心に活動を行ってまいりました。また、これら七つの同窓会組織間の連絡調整を図るため「同窓会連絡会」が設けられ、同窓会組織全体の連絡調整を図ってまいりました。今回の全学同窓会の設立はこの「同窓会連絡会」が中心となって進めたいことによるもので、これら七つの同窓会を統合した形で設立されました。

各学部等を中心とした七つの同窓会は全学同窓会の傘下として今後も存続し、これまで通り自主的な活動を続けていきます。各学部等の同窓会は「会員同士の親睦と交流」事業を中心として「楽しくてためになる同窓会」を目指してまいります。これに対して、全学同窓会はホームカミングデーのような全学規模で行われる親睦・交流事業のほかに「大学および在学生支援」を中心とした事業を行い「頼りになる同窓会」を目指します。

### 各学部同窓会と連携に

全学同窓会と各学部等を中心とした七つの同窓会との連携を密にするため、各学部等同窓会の会長に全学同窓会副会長への就任をお願いしました。また、全学同窓会の事業を行うための収入源としては、新入生、在学生(保護者)から徴収する教育後援会費の一部、各学部同窓会が

ら拠出される負担金、個人および団体からの寄付金等を考えております。同窓会組織としては学部等を中心とした上記七つの同窓会のほかに、国内に23、海外にも10の支部があります。これらの多くは有恒会として組織されているものですが、ほとんどの支部ではその構成員としてすべての学部の卒業生を受け入れております。今後は有恒会とも調整を図りながら、各支部の強化に努めていきたいと考えています。

### 三者が協力し大学を支援

全学同窓会が発足したことにより、これまで学友会として活動してきた組織は大阪市立大学教育後援会として再出発し、学生の課外活動等の支援を中心とした事業を行うこととなります。全学同窓会と教育後援会はそれぞれ大学および学生の支援を行います。これらの事業を円滑に行うため、大学と全学同窓会および教育後援会の三者で「大学支援協議会」を設け、互いに連携と協力を図りながら大学支援活動を進めてまいります。

全学同窓会の最初の活動として卒業生名簿の整備を行ってまいります。昨年から各学部等での名簿の整備をお願いし、それを地域ごとに仕分けして各支部に提供します。名簿はすべての活動のもとになるものですので、名簿の共有により支部活動の強化に役立てていければと願っています。

現在、大阪市と府との間で市立大学と府立大学との統合に向けた取り組みが進められていますが、どのような状況になろうとも市大卒業生の絆をより強く、そして国内に限らず世界に向けて広げてゆきたいと考えています。卒業生の皆様方のご協力をより強くお願いいたします。

## 全学同窓会発足に寄せて ～お祝いのメッセージ～



### 世界と戦える公立大学へ 大阪市立大学 学長 西澤 良記

大阪市立大学同窓会が昨年11月に結成されました。学長として、また、同窓生の一人として心よりお祝い申し上げます。さて、大阪府・市では、今後の大阪の成長に貢献する公立大学のあり方について、外部有識者による新大学構想会議を設置し検討が進められてきました。このたび、「新大学構想(提言)」が示されたところです。新大学構想会議においては、新たな公立大学ビジョン策定の背景として、世界的な都市間競争に打ち勝つ「強い大阪」を実現する成長戦略において、都市の知的インフラとして大学の活用は不可欠であること、二つの大学を合わせれば学生数2万人規模の公立総合大学となり、これまで培ってきたポテンシャルの活用が重要であることが示されております。また、ビジョン策定の視点として、「大阪の成長戦略への貢献」「自治体との連携や教育行政への貢献、実践的研究などの公立大学らしさの追求」、「両大学が培ってきた伝統と蓄積の活用」が重要な視点とされております。

### 新大学構想の将来像

現在示されております「新大学構想(提言)」においては、具体的な将来像として、両大学を統合した大幅な教育組織の再編が示されています。特に、両大学



### 「大阪市立大学同窓会」の 設立を祝う 大阪市立大学教育後援会 会長 金見 暁嗣

この度大阪市立大学同窓会の設立を心からお祝い申し上げます。思い起こせば、8年前平成17年3月、大学法人化を控えた大阪市立大学の教育研究活動を物心両面から支援することを目的に、またそのために、卒業生を中心に現役の学生、保護者、現教職員と退職教職員、さらには趣旨に賛同される人たちをも包括した「大阪市立大学コミュニティ」をつくることを目指して、学友会が設立されました。学友会と同窓会の枠を超えた、大学に関係するすべての人たちが大学のレベルアップを旗印に連携する、これまでにない新しい理念で設立された大学支援組織として近隣の大学からも注目されました。

このたびは、大阪府・市の成長戦略への貢献、実践的研究などの公立大学らしさの追求、両大学が培ってきた伝統と蓄積の活用が重要な視点とされております。また、ビジョン策定の視点として、「大阪の成長戦略への貢献」「自治体との連携や教育行政への貢献、実践的研究などの公立大学らしさの追求」、「両大学が培ってきた伝統と蓄積の活用」が重要な視点とされております。また、新大学構想(提言)が示されたこと、二つの大学を合わせれば学生数2万人規模の公立総合大学となり、これまで培ってきたポテンシャルの活用が重要であることが示されております。また、ビジョン策定の視点として、「大阪の成長戦略への貢献」「自治体との連携や教育行政への貢献、実践的研究などの公立大学らしさの追求」、「両大学が培ってきた伝統と蓄積の活用」が重要な視点とされております。

# 歴代卒業生が一丸 現役学生と大学を支援

## 全学同窓会「大阪市立大学同窓会」設立

昭和24年に大阪市立大学が設立されて以来、切望されていた全学統一同窓会が、2012年11月3日のホームカミングデー・オープンデーで初代会長・児玉隆夫氏から設立発表され、同時に開催された総会にて承認された。

現在、各学部の同窓会は文系(商学部・経済学部・法学部・文学部)4学部の同窓会である「有恒会」「理学部同窓会」「工学部同窓会」「医学部同窓会」「生活科学部同窓会」の七つがあるが、これを統合した全学同窓会「大阪市立大学同窓会」が平成24年11月3日開催のホームカミングデー・オープンデーで概要の発表があり、設立総会で承認された。なお、初代会長には児玉隆夫氏(院理43修、前理学部同窓会会長、元市大学長)が就任した。

平成17年に校友会が設立され、在学生支援を中心に

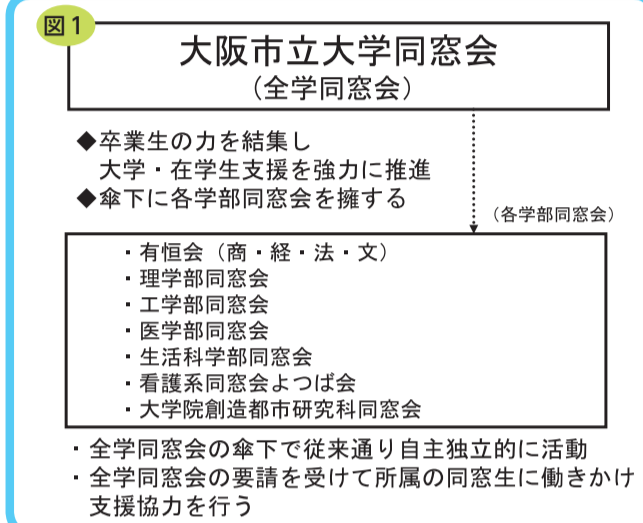
大学支援を行ってきたが、昨今の少子化に伴う大学間競争の激化、大阪市からの大学交付金の減少その他、わが母校市大にとり厳しい環境が続いている。

そこで校友会を思い切って改組し、大学および在学生を支援する団体として全学同窓会「大阪市立大学同窓会」と「大阪市立大学教育後援会」の二つを設立し、従来以上に強力に大学及び在学生支援を行っていくこととした。

全学同窓会は、卒業生の力を結集し大学・在学生支援を強力に推進する。現行の各学部同窓会(それぞれの前身校等を含む)全ての卒業生が会員(はその傘下として)存続し、従来通り自主独立に活動を続け、全学同窓会



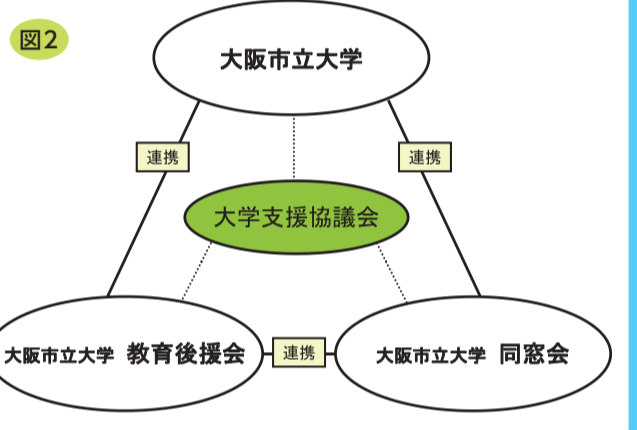
世代を超えて交流



と緊密に連携を保ち、全学同窓会の要請を受けて所属の同窓生に働きかけ、全学同窓会と一緒に大学支援、在学生支援を強力に行う。

(全学同窓会概要II図1) 全学同窓会と教育後援会の役割分担について、教育後援会は在学生支援のほとんどの項目について対応、一方、全学同窓会は教育後

## 大学支援団体の位置付けと連携関係



援会が対応困難な大学・在学生支援について対応する。

また、支援を受ける大学と支援を実施する団体の教育後援会および全学同窓会の三者はそれぞれの代表者をメンバーとする「大学支援協議会(略称「三者協議会」)の設立を行い、三者間の連携、絆をより強くする「大学支援協議会」を運営の「要」として、それぞれの課題・要望などを共有し大学支援についての方向づけと推進を行い、従来以上に強力に大学支援および在学生支援を果たしていく。

(三者の連携関係II図2) 全学同窓会「大阪市立大学同窓会」の役員などは右表の通りで、運営組織はシンプルに徹して進めていく予定。

実行組織としては、恒常的事業(広報、就職支援関係ほか)については常設委員会を設置、その他はプロジェクトを都度臨時に設置・運営して行く予定。

全学同窓会 事務局

## 全学同窓会役員・委員名簿

| 全学同窓会役員役職 | 所属同窓生会名    | 氏名     | 卒年    |
|-----------|------------|--------|-------|
| 会長        | 理同窓会       | 児玉 隆夫  | 院理S43 |
|           | 有恒会        | 倉持 治夫  | 商S48  |
|           | 理同窓会       | 市村 彰男  | 院理S46 |
|           | 工学部同窓会     | 木村 雅之  | 工S51  |
|           | 医学部同窓会     | 生野 弘道  | 医S44  |
|           | 生活科学部同窓会   | 岸本 幸臣  | 生S38  |
|           | 看護系同窓会よつば会 | 白田 久美子 | 看S44  |
|           | 創造都市研究科同窓会 | 喜多 繁幸  | 院創H24 |
|           | 副会長        | 有恒会    | 小川 泰彦 |
| 工学部同窓会    |            | 人見 宗男  | 工S31  |
| 監事        | 有恒会        | 小川 泰彦  | 商S53  |
|           | 工学部同窓会     | 人見 宗男  | 工S31  |

| 常設委員会      |            |        |       |
|------------|------------|--------|-------|
| 事業委員会委員    | 有恒会        | 有本 英一  | 法S36  |
|            | 理同窓会       | 市村 彰男  | 院理S46 |
|            | 工学部同窓会     | 前谷 治男  | 工S51  |
|            | 医学部同窓会     | 志村 研太郎 | 医S49  |
|            | 生活科学部同窓会   | 春木 敏   | 生S49  |
|            | 看護系同窓会よつば会 | 川端 京子  | 医看    |
|            | 看護系同窓会よつば会 | 玉上 麻美  | 医看    |
|            | 創造都市研究科同窓会 | 喜多 繁幸  | 院創H24 |
|            | 有恒会        | 羽原 顕三  | 商S38  |
|            | 理同窓会       | 佐藤 和信  | 理H01  |
| 広報委員会委員    | 工学部同窓会     | 瀧山 武   | 工S59  |
|            | 医学部同窓会     | 鶴原 常雄  | 医S35  |
|            | 生活科学部同窓会   | 生田 英輔  | 院生H16 |
|            | 看護系同窓会よつば会 | 町野 芽衣  | 医看    |
|            | 創造都市研究科同窓会 | 喜多 繁幸  | 院創H24 |
| 創造都市研究科同窓会 | 大野 境子      | 院創H24  |       |

| 事務局担当 |     |       |      |
|-------|-----|-------|------|
| 事務局   | 有恒会 | 植田 浩吉 | 法S44 |
|       | 有恒会 | 齋藤 郁朗 | 法S44 |

# 130周年記念事業 はばたけ夢基金

大阪市立大学創立130周年記念事業の一環として、大学が行う教育・研究・地域貢献・医療など諸活動に資することを目的とし「はばたけ夢基金」を設立しました。

基金の一部は「積立金」として運用し、一部は「事業資金」として単独または本学の他の資金と併せて下記事業に活用させていただきます。

- 1 教育支援事業
- 2 研究支援事業
- 3 教育研究環境整備事業
- 4 国際交流事業
- 5 社会連携事業
- 6 医療・保健推進事業

## 母校の発展に活用

- ◆金額
  - 1 個人の方
    - 1口1万円(何口でもお申込みいただけます)
    - \*1口未満のご寄付もありたく頂戴いたします。(千円単位)
  - 2 法人の方
    - 1口の金額は特に定めておりません。
    - \*有価証券等、土地、建築建物のご寄付、遺贈によるご寄付につきましては事務局までご相談ください。
    - \*遺贈によるご寄付の場合はご希望に応じて信託銀行をご紹介いたします。
- ◆募集期間
 

平成21年10月1日から平成26年9月30日まで

\*その他基金に関する詳細は、大学ホームページをご覧ください。

## ●大阪市立大学はばたけ夢基金の活用状況について●

はばたけ夢基金は平成26年9月30日まで募集しています。使途については、「はばたけ夢基金運営委員会」で寄付者の意向に沿った形で決定し、一部事業を実施しております。

ご寄付をいただきました皆様、本当にありがとうございました。今後ともご支援よろしくお願い申し上げます。

○寄付者の意向(1,000回、1,000万円以上のご寄付)に沿った事業

- ・「野瀬健三奨学金」事業：平成22年8月、会計学の分野を勉強、研究する学生・大学院生の奨学金制度を設立し、奨学金を支給しています。(5,000万円)
- ・「健康教育支援」事業：平成24年5月、「タバコのからだへの影響を考える」シンポジウムを開催、平成24~27年度の全学共通教育科目として「たばこと健康問題」科目を開講しています。また、禁煙・急性アルコール中毒、薬物乱用の防止等の啓発活動を実施しています。(1,000万円)
- ・「浦上奨学金」事業：平成9年度に設立した浦上奨学金(浦上智子氏の寄付金による奨学金で、学力に優れ、かつ研究心に富みながら経済的理由のために進学が困難な大学院に在学する女子留学生の奨学金)へ、平成22年8月に充当し、奨学金を支給しています。(3,321万円)
- ・平和と人権に関する教育・研究事業：平成24年6月、平和と人権に関する教育・研究(若手研究者の養成、プロジェクト研究、出版助成など)に活用する予定です。(6,000万円)

○その他「はばたけ夢基金運営委員会」で使途を決定した事業

- ・外国語特別演習室の機器更新：平成22年度、大阪市の「ふるさと納税(寄付金)制度」を活用してご寄付いただき、大阪市から運営費交付金に上積みして交付された寄付金で、寄付者アンケートを参考に外国語特別演習室の機器更新に活用させていただきました。(4,340万円)
- ・南北道路および南部ストリートの空き地への植栽：工学部西側J線沿いに整備された南北道路の空き地および、杉本町駅東口から生活科学部北側沿いに整備した南部ストリートの空き地に、シダレザクラ、ソメイヨシノなどを植樹します。(170万円)
- ・ボート祭などで使用するボートの購入：大学の伝統行事であるボート祭などで使用するボート(ナックルフォア)3艇を購入します。ボートは「はばたけ夢1号」「はばたけ夢2号」「はばたけ夢3号」と命名する予定です。(320万円)

\*各事業の詳細については、大阪市立大学HPに掲載しています。はばたけ夢基金の画面からご覧いただけます。(平成25年2月現在)

全学同窓会の事業活動

全学同窓会の具体的な事業活動については常設委員会(広報委員会・事業委員会)が担当し、優先順位の高いと思われるものを重点的に順次、拡大していくことを基本に、今後、詳細の検討を行い、推進していく。広報委員会は、全学同窓会の会報誌発行など「広報PR事業」を担当し、事業委員会は以下の事業を担当する。

1 大学支援

- ①卒業生の知識・経験・ノウハウ・ネットワークの活用によるセミナー・シンポジウムへの講師派遣の協力、産学連携協力など「教育研究支援への協力」
②はばたけ夢基金など「寄付募集の協力」
③「大学の知名度アップのための協力」など

2 在学生支援

- ①若手卒業生と在学生との交流会など「就職支援・進学相談」
②留学生関連支援など「国際力強化支援」
③各同窓会・卒業生支援
①名簿の管理と活用、各種活性化ノウハウの提供など「各学部同窓会の活性化支援」
②「ホームカミングデー」の充実の推進など

現職公務員OB・OGYに在学生との交流会

このうち「在学生支援事業」を最優先に取り組みを開始している。(詳細は以下)

昨今、官公庁への就職が増加しており、就職先は法学部で約47%、生活科学部約28%、文学部約22%、経済学部約13%、商学部約9%、工学部約9%、理学部約7%となっている。(平成24年卒業生就職先データ、大学就職担当課資料より)



交流会のようす

ればありがたい」との要望があった。

そこで、在学生にとって話しやすい、主に卒業後10年前後までの若い年代の先輩のお話を聞いたり相談したりできる交流会を、関係各位のご協力を得て2013年2月17日(日)、田中記念館で開催し、公務員志望の在学生37名が参加した。講師は次のとおり。大阪府庁 藤井恵(商H19)、富永和穂(文H21)、今川祐加子(商H23)、西口栄一(経S60)▽大阪市役所 井並涼子(法H16)、池田健太(法H24)、有田正文(経S50)▽堺市役所 北口雅章(商H3)、中川博義(法H16)、浦部喜行(文S62)、出原康雄(経S42) (敬称略)

海外留学生との国際交流「三井・Net」のボランティア

国際センターでは、有恒会の仲介支援により昨秋から、「三井・Net」(三井ボランティアネットワーク事業)による海外留学生を対象にした国際交流ボランティアの取り組みに入り、すでに3名の留学生(ベトナム人2名、中国人1名)との間で交流が開始された。三井・Netは三井グループ企業31社で構成され、その企業の退職者約200名がメンバーとして参加し留学生と1対1で交流、主として日本語、社会生活、文化、習慣、就職などを指導・支援している。

本学は、海外からの留学生が300余名に達し、うちアジア地域からが90%以上を占め、とくに中国からの留学生が圧倒的に多い。

同窓会

活動紹介

有恒会

有恒会は、昭和28年に前身の大阪商科大学同窓会から引き継がれ、120年あまりの歴史があります。現在の会員は旧制大阪高商、商学部、高商部の卒業生及び市大の商学部・経済学部・法学部・文学部の卒業生によって構成されており、会員総数は約40,000名に達しています。当会には、運営本部のもとに総務、財務、会員、広報の4部会があり、本部は会員相互の恒常的な交流および親睦などをはかるための催し及び会報誌(年3回)を発行するとともに、同期会、職域会、クラブOB会、同好会などを積極的に支援・協力しています。さらに、当会には全国23カ所に支部組織があり、本部一支部間の交流を深めるとともに当会以外の学部同窓生を含めての支部活性化のための支援活動に努めています。また、大学の催事への積極的な参加とともに大学および在学生への支援・協力による関係強化に注力しています。とくに、関係団体の(財)有恒会では永年にわたり大学への助成および在学生への奨学金等の支援を行ってきました。

●理学部同窓会長 市村 彰男

理学部同窓会

昭和28(1953)年に理学部の前身である理工学部(1959年に理学部と工学部に分かれる)1期生の卒業生が出てから現在までに、約6300名の理学部卒業生および理学研究科修士課程修了生を輩出しています。理学部同窓会活動もそのころから始まったと聞いていますが、2001年に同窓会名簿が整理され印刷物として出版された後、同窓会活動は停滞期に入っていたようです。その後、現全学同窓会会長の児玉隆夫前理学部同窓会長をはじめとする執行部の献身的なご努力により、理同窓会の立て直しができ、今日に至っています。電子媒体による名簿整理もようやく軌道に乗り始めました。理同窓会の活動の一つは、主に在学生・院生を対象とした卒業生や元理学部教員による講演会を開催していることです。昨年度は、生物学科で教鞭をとられました古澤満先生(ネオ・モルガン研究所最高顧問)を講師に招き、世界的に高い研究の評価をされている「不均進化論」のお話をさせていただきました。今年度以降も最低年1回の講演会開催を予定しています。また、在学生への支援活動として全学同窓会と連携して就職支援を行っていきます。理学部を卒業して中高校の教員を目指す学生は、文学部と同様に他の学部比べて多く、教員志望の学生に対して理学部卒業生の中堅、若手現役中高教員との交流会の開催も予定しています。全学同窓会が立ち上がり、理学部同窓会も同窓生に対して、より積極的に情報を発信していきたいと思っておりますので、同窓生各位のご協力をよろしくお願いいたします。

●理学部同窓会長 市村 彰男

生活科学部同窓会

生活科学部は大正10年4月、大阪市立西区高等実修女学校として創立され、大正13年に大阪市立高等西華女学校、昭和16年に大阪市立西華高等女学校と改称後、昭和22年に大阪市立女子専門学校を設置、昭和24年には学制改革により大阪市立大学家政学部となりました。さらに、昭和28年に大学院家政学研究科修士課程を設置、昭和50年に大阪市立大学生生活科学部に改称するとともに生活科学研究科博士課程を設置し、平成21年には学部創立60周年を迎えました。私たちの学部は、半世紀以上にわたって我が国における家政学・生活科学の先進的拠点として、有為な人材の輩出と研究成果の社会的貢献を果たしてきました。生活科学部同窓会は、大正11年の卒業生より今日までの約12,000人を越える会員の方々に、大学の現状をお伝えするニュースレターの発行をはじめ、定期総会と記念講演およびシンポジウムの開催、各学科、各学年、各研究室の交流会、専門職の研修ほか、学習会の開催など、卒業生の交流会開催への援助を多面的に行っています。最近では、卒業後50年を記念した同窓会の開催が活発に行われ始めました。歴史と伝統を持つ同窓生の力を在学生にも引き継ぐ同窓会として、全学同窓会と連携して活動の充実を図ってまいります。

工学部同窓会

工学部同窓会は、旧都島高専の卒業生を含め約1万人の会員を擁しています。主な事業は会員相互の交流と親睦を図ることですが、それ以外に在学生の支援にも力を入れています。特にユニークなのが奨学金の制度です。後期博士課程進学者に奨学金を付与する後期博士課程就学援助制度、工学部の受験生に、受験前の段階で奨学金の給付を約束する奨学金制度があります。この奨学金は一定要件を満たし、工学部に入学することが条件になりますが、経済的理由で受験をあきらめていた方々にはお金の心配をしないで受験に専念できるという点で朗報ではないでしょうか。原資には会員の皆様から頂いた寄付をもとに基金を積み立て運用しています。力不足で大したことはできませんが、お知り合いで希望者がおられましたら紹介してあげてください。また、在学生が将来を考える一助にと工場見学会を開催しています。これは就職活動とは全く別物で、エンジニアが生きていく現場がどのようなものか、そこで先輩たちがどのような仕事をしているのか、実際に見て、聞いて交流を深めるものです。以上が工学部の現状ですが、市立大学同窓会の構成員として、全体の同窓会活動にも積極的に参画していきたいと考えています。●工学部同窓会長 木村 雅之

医学部同窓会

医学部同窓会は現在、昭和24年卒医専第1期卒業生から平成25年学部第62期卒業生までの4549名で構成され、年会費5,000円(納入率約40%)で年間約1,000万円の予算で運営されています。同窓会は理事15~25名(会長1名、副会長3名)、監事2名、議長・副議長各1名で組織され、「定例理事会」を隔月、「定例総会・評議委員会」を年1回開催しています。同窓会では社会的貢献やスポーツ大会などで優秀な成績を残した学生への顕彰として平成12年より『仁澤賞』を贈呈。また、『Student of the year』として卒業試験首席の学生に「智」、クラスで最も信望されている学生に「勇」、課外活動で顕著な業績を残した学生に「勇」と称し仁澤賞と共に総会時に表彰し、学生から評価の高い教員も『Teacher of the year』として同様に表彰しています。また、今年から医学部合格発表1週間後に「新入生歓迎会」を開き、大変好評でした。「卒業研修会」は毎年開催され、研修医をはじめ受講者は多く、今年2月には第35回を迎えました。そして、夏季休暇には会員の診療所で「卒前教育」を行っています。広報活動としては同窓会報『仁澤』の年3回定期的な発刊と、ホームページの定期的な更新を行っています。また同窓会名簿は3年に1回発刊し、会員の諸活動に幅広く利用されています。

看護系同窓会「よつば会」

看護系同窓会「よつば会」は、医学部看護学科、大学院看護学研究科の卒業生、在校生だけでなく、前身校の卒業生も含めて構成されています。会員数約4700人を擁する歴史と伝統のある看護の同窓会組織であり、卒業生の方々は病院をはじめ、保健センターや企業、学校、大学などで幅広く活躍し、看護の発展に貢献いたしております。卒業生、在校生には次のような支援を行っています。1.講演会開催：年1回開催しています。在学生の皆様は無料で聴講していただけます。2.卒業生に対するお祝い：毎年卒業式に参列し、祝辞と共にお祝いを贈っています。3.進路・就職などの説明会開催：諸先輩方を講師とし、進路や就職などの説明会を在校生に開催します。4.医学分館への図書寄贈：阿倍野キャンパスにある大阪市立大学学術情報総合センター医学分館に看護に関連する図書を寄贈しています。5.ホームページの更新。6.大阪市立大学大学院看護学研究科講演・シンポジウムの協賛。これからの学生生活はもちろん、卒業後の看護職者としてのご活躍に際しても強力に支援していきます。●よつば会会長 白田 久美子

創造都市研究科同窓会

創造都市研究科(GSCC)同窓会は、まだまだ小さい組織ではありますが、修了生の交流を促し、修了後の継続的な研鑽の場や、同窓生の活躍をお伝えできる場を創出していきたいと考えています。具体的には、現役生の組織である「院生会」と共催での「ホームカミングデー」開催、「WEB会報発行」による情報発信、その他勉強会などを企画・検討しています。昨年のホームカミングデーは、11月3日(土)に大阪駅前第二ビルの梅田サテライトで開催され、現役生・卒業生・先生が一堂に会しました。まず「うめきた」「中之島」「天満・天神周辺」の3エリアに分かれて街歩きを開催。前年からの催しで80人が参加し、すっかり恒例になりました。続いて、ブース展示や講演による各分野(アントレプレナーシップ、アジア・ビジネス、都市経済・地域政策、都市公共政策、都市共生社会、知識情報基盤・情報システム創生)の紹介を行いました。日ごろ交流が少ない各分野がプレゼンしあうことで、ヨコのつながりが強固になったようです。最後に懇親会が行われ、分野対抗のゲームを開催するなど趣向を凝らした内容で盛り上がりしました。今後も院生会と協力し合って盛り上げていきたいと思っております。●創造都市研究科同窓会長 喜多 繁幸



大阪府大との法人統合

「新大学構想」最終提案まとまる

昨年6月からスタートした有識者による「新大学構想会議」が最終提案をとりまとめ、2月に府市統合本部に提出し、承認された。今後は、両大学内で最終提案に沿って学部再編などが検討される予定。

新大学構想によれば、1大学1法人の運営形態を予定。当面のキャンパスは、本学と大阪府大の計5カ所を活用し、将来は大阪都心部への一部移転も検討される予定。

全同窓会組織が田中記念館に集結

「杉本キャンパス施設利用検討委員会」では、大学施設利用のあり方を検討する中で、学生・同窓生のために田中記念館を軸とした交流の場をいっしょに「同窓会館」として活用が課題になっている。

財団法人有恒会解散式

「財団法人有恒会」が平成25年3月30日をもって解散した。

同窓会名簿の作成・更新ご協力をお願いします!

転居、転勤、海外赴任など、住所異動があれば必ず同窓会事務局にご一報ください。

厳しい環境下の母校および在学生支援のためにも、親しい学友や先輩・後輩との世代を超えた交流、通信の途絶えた懐かしい旧友との再会も「名簿」がなければどうすることもできません。趣旨をご理解いただき、何とぞご協力をお願いいたします。

連絡先 全学同窓会「大阪市立大学同窓会」事務局 〒558-8585 大阪市住吉区杉本3-3-138 電話 06-6605-2087(平日10時~17時) F A X 06-6605-2088 E-mail yukokai@ado.osaka-cu.ac.jp

(各学部事務局へ連絡していただいても結構です)

会報の「名称」募集中!

この度「大阪市立大学同窓会報」を仮称で創刊しました。次号(本年9月発行予定)からは正式な「名称」でお届けしたいと思います。

つきましては、全学同窓会の会報紙にふさわしい「名称」を同窓の皆様から募集いたしますので、下記要領にて応募方よろしくお願ひします。

なお、「名称」を採用させていただいた方には薄謝を進呈いたします。

応募時記載事項

- 会報の「名称」案
● 住所、氏名、連絡先電話番号、Eメールアドレス

応募先 〆ハガキ、またはEメールでご応募ください

● 同窓会事務局 会報「名称」募集係 〒558-8585 大阪市住吉区杉本町3-3-138 TEL 06-6605-2087 Eメールアドレス kaiho-c@ado.osaka-cu.ac.jp

● 締め切り 6月末日

◆ 編集後記 ◆
このコーナーは「大学」を介しての縁を大切に、お互いに情報を共有し、交流する場として少しでもお役に立てれば、大変幸いです。積極的に投稿いただき、このコーナーを盛り立てていきたいと思います。

大阪市立大学同窓会・有恒会全国支部 連絡先一覧 (2013年3月31日現在)

Table with columns: 支部名, 役職, 氏名, 学部卒年, 連絡先(TEL). Lists various regional branches and their contact information.

Table with columns: 支部名, 役職, 氏名, 学部卒年, 連絡先(TEL). Lists various regional branches and their contact information.

詳細な連絡先ほか、お問い合わせなどは有恒会本部事務局へ: 〒558-8585 大阪市住吉区杉本3-3-138 大阪市立大学内 Tel 06-6605-2087 Fax2088 Email : yukokai@ado.osaka-cu.ac.jp

祝 大阪市立大学同窓会設立!!

各学部同窓会は全学同窓会「大阪市立大学同窓会」と一致団結、力を合わせて母校の更なる発展を支援します。

- 有恒会(商学部・経済学部・法学部・文学部 文系学部同窓会) 会長 倉持 治夫 (商 48卒)
理学部同窓会 会長 市村 彰 男 (院理46卒) 工学部同窓会 会長 木村 雅 之 (工 51卒)
医学部同窓会 会長 生野 弘 道 (医 44卒) 生活科学部同窓会 会長 岸本 幸 臣 (生 38卒)
看護系同窓会 会長 白田 久美子 (看 44卒) 創造都市研究科同窓会 会長 喜多 繁 幸 (院創H24卒)

お問い合わせ等は全学同窓会事務局(有恒会) TEL 06-6605-2087 F A X 06-6605-2088

「さくら通り」緑地完成記念式典を開催



大学では4月10日(水)、工学部西側の南北道路沿いに「はばたけ夢基金」を活用した植樹を含めた緑地帯が3月末に完成したことを機に、鎌入れや除幕式など緑地完成記念式典が開催された。

この南北道路沿いの緑地には、ソメイヨシノとシダレザクラが植えられて桜並木となり、愛称として「さくら通り」と命名された。



学関係者、児玉隆大同窓会会長、湯浅勲教育後援会代表幹事など約40名が桜花爛漫のもとに集い厳かに白菊をささげた。

今回は、全学同窓会発足後初めての開催だったが、支部の名称から「有恒会」を省いて「市大同窓会」の支部と変更する支部が7支部(愛知、北摂、神戸、奈良、山陰、香川、愛媛)のほって

いることが注目された。

会議後の懇親会では、来賓の西澤良記学長が、4月に人工光合成研究センター、7月に「うめきた」地区のナレッジ・キャピタルに「健康科学」をテーマとする「市大ゾーン」を開発することを紹介した。懇談の中で

後初めて開催だったが、支部の名称から「有恒会」を省いて「市大同窓会」の支部と変更する支部が7支部(愛知、北摂、神戸、奈良、山陰、香川、愛媛)のほって

いることが注目された。

会議後の懇親会では、来賓の西澤良記学長が、4月に人工光合成研究センター、7月に「うめきた」地区のナレッジ・キャピタルに「健康科学」をテーマとする「市大ゾーン」を開発することを紹介した。懇談の中で

後初めて開催だったが、支部の名称から「有恒会」を省いて「市大同窓会」の支部と変更する支部が7支部(愛知、北摂、神戸、奈良、山陰、香川、愛媛)のほって

いることが注目された。

会議後の懇親会では、来賓の西澤良記学長が、4月に人工光合成研究センター、7月に「うめきた」地区のナレッジ・キャピタルに「健康科学」をテーマとする「市大ゾーン」を開発することを紹介した。懇談の中で

後初めて開催だったが、支部の名称から「有恒会」を省いて「市大同窓会」の支部と変更する支部が7支部(愛知、北摂、神戸、奈良、山陰、香川、愛媛)のほって

いることが注目された。

会議後の懇親会では、来賓の西澤良記学長が、4月に人工光合成研究センター、7月に「うめきた」地区のナレッジ・キャピタルに「健康科学」をテーマとする「市大ゾーン」を開発することを紹介した。懇談の中で

後初めて開催だったが、支部の名称から「有恒会」を省いて「市大同窓会」の支部と変更する支部が7支部(愛知、北摂、神戸、奈良、山陰、香川、愛媛)のほって

いることが注目された。

会議後の懇親会では、来賓の西澤良記学長が、4月に人工光合成研究センター、7月に「うめきた」地区のナレッジ・キャピタルに「健康科学」をテーマとする「市大ゾーン」を開発することを紹介した。懇談の中で

後初めて開催だったが、支部の名称から「有恒会」を省いて「市大同窓会」の支部と変更する支部が7支部(愛知、北摂、神戸、奈良、山陰、香川、愛媛)のほって

いることが注目された。

会議後の懇親会では、来賓の西澤良記学長が、4月に人工光合成研究センター、7月に「うめきた」地区のナレッジ・キャピタルに「健康科学」をテーマとする「市大ゾーン」を開発することを紹介した。懇談の中で

後初めて開催だったが、支部の名称から「有恒会」を省いて「市大同窓会」の支部と変更する支部が7支部(愛知、北摂、神戸、奈良、山陰、香川、愛媛)のほって

いることが注目された。

会議後の懇親会では、来賓の西澤良記学長が、4月に人工光合成研究センター、7月に「うめきた」地区のナレッジ・キャピタルに「健康科学」をテーマとする「市大ゾーン」を開発することを紹介した。懇談の中で

後初めて開催だったが、支部の名称から「有恒会」を省いて「市大同窓会」の支部と変更する支部が7支部(愛知、北摂、神戸、奈良、山陰、香川、愛媛)のほって

いることが注目された。

会議後の懇親会では、来賓の西澤良記学長が、4月に人工光合成研究センター、7月に「うめきた」地区のナレッジ・キャピタルに「健康科学」をテーマとする「市大ゾーン」を開発することを紹介した。懇談の中で

後初めて開催だったが、支部の名称から「有恒会」を省いて「市大同窓会」の支部と変更する支部が7支部(愛知、北摂、神戸、奈良、山陰、香川、愛媛)のほって

いることが注目された。